

2 目 標 達 成 計 画

特定非営利活動法人

グループホームひだまり

作成日 平成26年2月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	調査時、車いすベルトとベッド柵、就寝時のつなぎ服の3件の身体拘束があった。 非代替性による車いすベルト、ベッド柵、就寝時のつなぎ服の使用について家族の了承を得て安全な取り組みを行っていたが代替策について十分な検討がなされていなかった。	身体拘束「0」を目指して、身体拘束しない取り組みを話し合い具体的な介護方法を検討した。	車いすの腰ベルトに関しては、25年11月20日職員全体で協議し家族にも説明を行い12月1日よりベルト着用中止することに決定。前方に身体を乗り出し手で何かをつかもうとするので転落につながる。それを防止するために必ず職員が見守る。席を外す時は厨房職員に依頼する。机の上には何も置かない、移乗時は本人優先とし安全を確認するまでそばを離れない。	30日
				つなぎ服に関しては、本人が排泄する時間に合わせておむつ交換とトイレ介助が行われるように取り組む。朝方の忙しい時間帯に脱衣し、ろう便汚染する傾向なので1番に起床介助を行い排泄介助を行う。	30日
2	35	防災訓練を年2回実施しているが夜間の防災・災害訓練が出来ていなかった。	①早急に夜間訓練を行う。 ②スプリンクラー設置については、25年度施設増設計画の可否により検討しなるべく早い時期に設置できるように計画する。	25年12月20日に消防職員の指導の下、夜間と想定した火災、地震の防災訓練を実施した。	30日
3	36	島で育って生活し慣れ親しんだ間柄の反面親しさからプライバシーや尊厳を損ねる事がある。	人格の尊厳、丁寧な介護が出来る。	毎日心がける事と題し3項目を設け朝のミーティングで復唱し尊厳を意識づけている。人格の尊厳、丁寧な介護が出来たか毎月の職員会議で話し合いを行い、出来なかった項目を次の目標に掲げる。	30日

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。